

# 休診日には、大学病院で診療。 新たに得た情報を持ち帰る



院長 田口 茂和 たぐち・しげかず

あいのまち歯科医院 埼玉県鴻巣市愛の町441

## 歯

科医院を開院した今でも大学病院での診療を続けている。「大学病院では、クリニックで経験できないような治療に携わることができるから、というのがあります。また、開院した現在は、自分が紹介した患者さんが実際にどのような治療を受けるのかを見届けたという理由も大きいですね」と話す田口院長。あいのまち歯科医院が休診日となる木曜日は、埼玉医科大学病院での診療日となっており、自身の患者を大学病院に紹介し、自ら手術を担当するケースもある。口腔外科をバックボーンに持ち、外科手術は得意分野である。例えば、インプラント治療で骨の量が十分でない患者に対しては、大学病院で腰骨から骨を移植する治療を行う。

研修医を務めた埼玉医科大学病院では臨床、研究、論文をバランス良く学ぶことが推奨されていた。「毎週行われる症例検討会で問診や所見の取り方から臨床診断、それに対する治療法に至るまで基礎を叩き込まれました。また、顎関節の權威である依田哲也教授の指導のもと、顎関節症について研鑽を積めたことは私の歯科人生において大きな糧となりました。」

「大学病院はチーム医療になりますので、自分の分野に特化した治療を行います。それも大切なことですが、今は、一人ひとりの患者さんに時間をかけて対応できる歯科医院での治療にやりがいを感じています。大学病院で診療していると、日々新たな治療や薬に接することがあります。自分が習った知識が古くなっていることに気づかされることもあります。大学病院で得た新しい情報を日々の診療に役立てたいと考えています」と田口院長は話す。



埼玉医科大学病院のオペ室  
(右・田口茂和院長)